

News Release

2022年3月30日
独立行政法人製品評価技術基盤機構
NITE（ナイト）
東北支所

安さの裏に潜む非純正バッテリーの危険性 ～破裂や発火の事故多発！～ (東北版資料)

1. 事故の発生状況

非純正バッテリーによる事故が多く発生しています。独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE（ナイト））に通知のあった製品事故情報^{※1}では、2017年から2021年の5年間に非純正バッテリーの事故が134件ありました。全国の事故はすべて焼損した事故であり、同じ時期に発生した4件の東北地区における事故も同様に、非純正のバッテリーより出火して焼損した事故でした。

東北地区における事故は、全国の事故事例同様に、直近の3年間の事故であり、東北地区での事故でも4件中3件は製品破損にとどまらず、周辺の焼損等拡大被害に繋がっております。

非純正バッテリーは純正バッテリーよりも多くのリスクを抱えています。
非純正バッテリーが抱えるリスクとしては以下のことがあげられます。

- ①設計不良で安全保護装置が作動しないものがある。
- ②品質管理が不十分なものがある。
- ③事故が発生した際、接続した機器のメーカーの対応、補償を受けられない。
- ④廃棄が困難な場合がある。

リチウムイオンバッテリーはスマートフォンの普及で毎日身近で使用していますし、昨今は家電量販店での掃除機は充電式が主流で、ロボット型の利用も増えてきました。また従前より電動工具は充電式が主流でしたが、蓄電池がリチウムイオンバッテリーになり、一般家庭でも電動工具を利用される事例が増えていきます。このように非常に便利なりチウムイオンバッテリーですが、リスクの多い非純正バッテリーは一度事故が起きると、火災になり大きな被害に発展しやすいため、注意が必要です。

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含みます。



(イメージです。)

表1 非純正バッテリーでの年度別事故発生件数

発生年	発生県						合計
	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	
2017年	0	0	0	0	0	0	0
2018年	0	0	0	0	0	0	0
2019年	0	0	1	0	0	1	2
2020年	1	0	0	0	0	0	1
2021年	0	0	1	0	0	0	1
合計	1	0	2	0	0	1	4

表2 非純正バッテリーでの事故の被害状況別発生件数

被害状況	発生県						合計
	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	
死亡	0	0	0	0	0	0	0
重傷	0	0	0	0	0	0	0
軽傷	0	0	0	0	0	0	0
拡大被害	1	0	1	0	0	1	3
製品破損	0	0	1	0	0	0	1
被害なし	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	0	2	0	0	1	4

表3 非純正バッテリーでの事故の原因区分別発生件数

原因区分	発生県						合計	
	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島		
製品に起因する事故	A: 設計、製造又は表示等に問題があったもの	1	0	0	0	0	1	2
	B: 製品及び使い方に問題があったもの	0	0	0	0	0	0	0
	C: 経年劣化によるもの	0	0	0	0	0	0	0
	G3: 製品起因ではあるが、その原因が不明のもの	0	0	1	0	0	0	1
製品に起因しない事故	D: 施工、修理、又は輸送等に問題があったもの	0	0	0	0	0	0	0
	E: 誤使用や不注意によるもの	0	0	0	0	0	0	0
	F: その他製品に起因しないもの	0	0	1	0	0	0	1
G1、G2: 原因不明のもの		0	0	0	0	0	0	0
H: 調査中のもの		0	0	0	0	0	0	0
合計		1	0	2	0	0	1	4

2. 主な事故事例

○2019年3月20日 バッテリーパック（リチウムイオン、電動工具用）（福島県、40歳代男性）

事故内容： ネット通販で購入した充電中の電動工具用バッテリーパック付近から出火し、周辺を焼損した。

事故原因： 非純正品のバッテリーパックに、セル間の電圧のアンバランスを検知する回路がない構造であったため、過充電により異常発熱し、焼損したものと推定される。

○2019年8月19日 電気掃除機（宮城県、年齢不明男性）

事故内容： 事務所で当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。

事故原因： バッテリーパックは電池セル間接続板の形状や基板の形状から、他社製の非純正バッテリーパックであることが確認され、掃除機本体に出火の痕跡は認められないことから、取り付けられていた非純正バッテリーパックからの延焼により焼損したものと考えられる。なお、取扱説明書には、「出火のおそれがあるため、専用のバッテリーパック以外は使用しない。」旨、記載されている。

○2020年7月13日 バッテリーパック（リチウムイオン、電動工具用）（岩手県、年代性別不明）

事故内容： ネット通販で購入した電動工具用バッテリーパック付近から出火し、周辺を焼損した。

事故原因： 非純正品のバッテリーパックに、セル間の電圧のアンバランスを検知する回路がない構造であったため、過充電により異常発熱し、焼損したものと推定される。

○2021年7月20日 バッテリーパック（リチウムイオン、電動工具用）（宮城県、年齢不明男性）

事故内容： 充電中の電動工具用バッテリーパック付近から出火し、焼損した。

事故原因： 非純正品のバッテリーが異常発熱し、焼損したものと推定されるが、焼損が著しく、異常発熱した原因の特定はできなかった。

3. 製品事故の実験映像につきまして

製品事故の写真及び動画をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構＋NITE のロゴ」としてください。

【編集人のつぶやき】

令和3年度最後のプレスリリースとなりました。編集人の年齢も上がったためか、今年度もあっという間に過ぎ去った感じです。今回も最後までお読みいただき、ありがとうございます。

今回のネタは興味津々の非純正バッテリーでした。ブランド品のプロの方々が良く使っている電動工具を揃えたいなあ～とは常日頃思っていたのですが、何せ高額！物によっては、本体の工具よりもバッテリーと充電器の値段が高かったりします。ネット通販で非純正バッテリーはどんなのかな～と何度も閲覧していましたが、今回の資料作成中に決心しました。プロのように頻繁にドライバーやレンチを使うわけでも無く、手動のプラスマイナスインパクトドライバーとレンチで、バイクのメンテやDIYを頑張ります！！

とはいえ、家にはリチウムイオンバッテリーが多々転がっています。乾電池のように便利に、また、やや乱暴に使っている面もあるように思います。純正、非純正にかかわらず、リチウムイオンバッテリーの取扱いに注意し、特に非純正バッテリーは、安さに飛びつかず、安全かどうかよく確認し、安全に利用したいと思います。

新年度を迎え、生活環境が変わる方も多くいらっしゃると思います。合わせて様々な家電製品が新たに動き始める時期でもあります。家電製品をはじめ、身の回りの道具等の使用の際は、慌てず立ち止まって安全確認を行い、良い新年度を迎えましょう～

(本件に関する問い合わせ先)

〒983-0833 宮城県仙台市宮城野区東仙台 4-5-18

ナイト
独立行政法人製品評価技術基盤機構 東北支所(略称:NITE)

責任者(支所長): 菊地 徹

担当: 齋藤(さいとう)、照井(てるい)、福井(ふくい)

電話: 022-256-6423

E-mail: jiko-tohoku@nite.go.jp

NITE
ホームページ



YouTube
公式チャンネル



Twitter
公式アカウント

